



全国の販売店様をご紹介

No.221

ねんどのお店だより 2026年6月号

はちのこいこっと

2026年2月頃、ボディクレイの方がご来店下さいました。「開店当初からボディクレイを置いてくれている『はちのこいこっと』さんを『ねんどのお店だより』で紹介してくれませんか？」とのこと。「そうか！そんなに当初から・・・と、あらためて開店から29年にもなる歴史？を辿ってみる機会になりました。

今は亡き初代店長の宮下マサさんの思いと、当時の「すぺーすはちのこ」に集う私たちの意気込みや、賛同してくれる近在の三鷹・武蔵野の市民のみなさんの熱気を思い出しました。「すぺーすはちのこ」は、保育園を中心に学童保育、国際協力や趣味サークルのグループ等が集うネットワークです。

開店は1997年12月。当時宮下さんの本業は保育士でした。「保育園を16年ぐらい続けてきた経験を活かし、預かる子どもの親だけでなく地域との繋がりが増えて、みんなが集まれる場所を作りたいかった」と。親たちのつてやアジア NGO 活動での人脈等を活用して、お店のデザインや食器の一部もお店に相応しいように、陶芸家である元園児の親御さんがオリジナルで作ってくれました。

資金面も女性の起業を応援する市民バンクから一発でOKが出て、市民債権も募り自己資金も含め、数か月で目標額を達成したのでした。その後の返済も順調に完了。お店の名前もみんなで考え、保育園の名前をとって「はちのこに行こう・憩う」をかけ合わせたもの。店内も近在のファーストフード店とは違うこだわりで、アトピーの子どもにも配慮した珪藻土の壁、気温や湿度の変化に対応する国産の木材を使用、床のワックスも赤ちゃんが舐めても害が無いものを使用しました。取り扱う食材や飲み物等も身体に負担のないもので、また雑貨等もフェアトレードのものを販売。ここ数年は、市内の中学生の職場訪問も受け入れたり、子ども食堂—みんなの食堂（毎月1回開催）も始めました。ギャラリーは地域活動の作品の発表の場となり、初代の宮下さんの思いは引き継がれて来ていると、あらためてほっとしたり・・・

お店の一角を占める、ねんどの各種商品も息の長い歴史がありますね。どれも肌に負担をかけず、繰り返し使えるので安心してお勧めできるものばかりです。ボディクレイさん、これからも頑張ってください。

山田久仁子



〒181-0014 東京都三鷹市野崎3丁目22-16

TEL: 090-6198-7842

営業日: 水曜日～土曜日 11時半頃～17時頃まで

E-mail: hachinokoikotto@gmail.com

Facebook: <http://www.facebook.com/ikotto>

Facebook

